

NAGASAKI



看護連盟だより

2022
新春

新年あけまして
おめでとう
ございます

女神大橋より撮影 [©FUJINARI]

今秋 長崎県看護連盟60周年 記念行事開催

目

長崎県看護連盟会長・名誉会長挨拶… 2

日本看護連盟会長・あべ俊子衆議院

議員・石田まさひろ参議院議員挨拶… 3

次

2021年度九州ブロック

看護管理者等政策セミナー… 4・5

たかがい恵美子衆議院議員挨拶…………… 4

地区支部紹介…………… 6・7

青年部便り…………… 8

第2回施設・連盟活動紹介…………… 9

寅年会員アンケート・編集後記…………… 10

<http://kangorenmei-nagasaki.jp/>



長崎県看護連盟

発行所／長崎県看護連盟

(諫早市永昌町23-6 ☎0957-49-8064)

責任者／久米春代

新年のごあいさつ



長崎県看護連盟 会長 久米 春代

謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員みなさまにおかれましては、平素から、長崎県看護連盟に多大なるご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

この冬も新型コロナウイルス変異株や季節性インフルエンザ等に対応されてます看護職の皆様には敬意と感謝を申し上げます。

昨年もコロナ禍のため十分な研修ができず、zoomを活用の研修が主となりご迷惑もおかけしましたが、多くの参加者があり役員一同うれしく思っています。

さて、衆議院へ転戦された「たかがい恵美子」前参議院議員は、比例代表中国ブロックで見事に当選されました。今後ますますのご活躍をされることを確信しております。

今年は壬寅（みずのえとら）

「壬」は「妊に通じ・陽気を下に妊（はら）む」

「寅」は「蟻（ミミズ）に通じ・春の草木が生ずる」という意味があります。そのために「壬寅」は厳しい冬を越えて芽吹き始め新しい成長の礎となるイメージで、これから成長する物事の始まる事と言われています。

～我が我がの我を捨ててお陰お陰での下で暮らす～

調和のとれた組織づくりを行い、第26回参議院選挙に向け組織強化に努めてまいりましょう。

今年は「すべての看護職の賃金引き上げを!! 看護職員の手にしっかり届く方法での支給」を強く要望し、皆様方にとりましてよいお年でありますように🐯



公益社団法人長崎県看護協会
長崎県看護連盟 名誉会長

山口 ミユキ

謹んで 初春のおよろこびを申しあげます

昨年は、計らずも新型コロナウイルス感染拡大の為、いまだ全ての人は不健康状態に陥り暗い暮らしが続いております。この渦中、看護職者組織代表 参議院議員 高階恵美子先生が過日の衆議院議員選挙で見事当選され衆議院議員としてご活躍いただくこととなりました。変わりなく看護界の組織代表として、これまで培われた政務を礎に国家国民の為に益々のご活躍を期待いたします。

令和4年度、参議院候補予定者未発表の現在、冷静に見守り、発表次第これまでの実績が発揮できるよう、いま一度、看護協会・看護連盟の役割を充分判断、熟慮して長崎県の看護の組織が評価されるように努力を積み重ねたいと思います。常に政治力の必要性を真摯に受け止め活動したことが皆無にならないために組織を一つにして平等に与えられた時間を有意義に使いましょう。超高齢少子時代に加えて、新型コロナウイルス感染に対する看護、人間らしくその人らしく穏やかな最期を支える看取りの文化の継承が必要です。更に良質な看護が提供できる為に、強力な組織力それは会員の増加です。今こそ、看護協会、即、看護連盟会員として表裏一体となって山積する看護界の諸問題解決ができることを信じ、看護界の組織代表者を選考することです。（令和3年度 長崎県看護協会・連盟比率：57.87%）

◎寅年に向けて ー看護に微笑みをー

寅の長所を生かし、強く元気よく、そして優しく微笑みを忘れることなく、組織力の活動がさらに強くそして美しく輝きますように心からご祈念して新年のご挨拶を申し上げます。

令和3年12月15日(水) 読売新聞

ー10万円給付指針前倒しー 自治体向け首相、一両日中に （参議院予算委員会）



日本看護連盟 会長 大島 敏子



初春のお喜びを申し上げます。

昨年は、COVID-19の感染症対策に明け暮れ、最前線で働く看護職に社会が注目し評価を高めた年でした。

皆様の看護実践に、心からの感謝と敬意を表します。

また、49回衆議院選挙では、自民党が単独過半数を獲得し、安定した政権運営が期待されます。日本看護連盟においても、2人の議員を国会に送り出すことができました。皆様のお力添え、ありがとうございました。

2022年の干支は、壬寅（みずのえとら）。「妊」の一部として「はらむ」「生まれる」という意味に加えて、「寅」は「演」に由来し「人の前に立つ」、演と同じ読みの「延」から「延ばす・成長する」という意味が込められています。2つを組み合わせる壬寅には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」の縁起のよさを感じられます。

7月には第26回参議院選挙が予定されています。「成長」「始まり」にふさわしい寅年にして参りましょう。



衆議院議員 あべ 俊子



「新年によせて」

新年あけましておめでとうございます。皆さまのご協力のもとワクチン接種も進み、コロナ禍からの復興に光が見えて参りました。感謝申し上げます。

この度、岸田政権下において看護師賃金の段階的な引き上げが決定いたしました。今後は全ての看護職への恒久的な賃金引き上げを求め、引き続き努力して参ります。また、今年は診療報酬改定が実施されます。新興感染症対応の他、医療従事者の負担軽減、タスクシフティングも重視されます。先般のパンデミックでは、看護師の専門性が注目され、高度な技術・知識による看護提供が適切に評価されることが望まれています。地域医療を担う、訪問看護ステーションの量的確保、質の担保も課題です。

いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場の声です。誇りをもって看護職を続けられる職場環境の整備に貴連盟の皆さまと一緒に取り組んで参りたいと存じます。



参議院議員 石田 まさひろ



長崎県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年の始まりを健やかに迎えられたことと存じます。

昨年も、新型コロナウイルスとの戦いのなかで、看護職たちは日々、精神をすり減らしながら懸命に日本の医療を守って下さいました。長崎県看護連盟の皆様は心より感謝を申し上げます。今後経口治療薬の普及やワクチン接種が現場の負担軽減につながることを期待し、アフターコロナのスタートが切れるよ

う努力を重ねてまいります。

国会では再び参議院国会対策委員会副委員長を拝命し、交渉役として今年も走り回ります。まずは診療報酬改定、看護職の所得向上を含む本予算の成立を目指します。

今年は参議院選挙の年です。私たちの力を結集し、看護の力を世にみせられるよう頑張っていきましょう。私も精一杯務め上げます。そして看護職が「今日も良い看護ができた!」と感じられる環境を作るため、身命を賭して頑張ります。



2021年度 九州ブロック看護管理者等政策セミナー が開催されました

2021年12月9日・10日、完成したての「出島メッセ長崎」において、九州ブロック協議会主催の政策セミナーが開催されました。九州各県・日本看護連盟より約80名が参加し、一部 ZOOM 配信されました。とても内容の濃い2日間でしたので、一部ご紹介いたします。

目的：1) トップリーダーとして組織を強化し、自律した組織・会員を育成する。

2) 看護管理者等の政治への関心を高める。

プログラムと内容

【1日目(12/9)】

○開会挨拶 九州ブロック協議会会長 長崎県看護連盟会長 久米 春代

○講演



「日本看護協会の重点政策と重点事業」

講師：日本看護協会常任理事 鎌田 久美子

- ・看護基礎教育制度改革の推進
- ・看護職の役割拡大の推進と人材育成
- ・健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築
- ・看護職の働き方改革の推進
- ・資格活用基盤の強化
- ・地域における健康危機管理体制の強化

など



「コロナ禍における看護基礎教育の現状と課題」

講師：長崎市医師会看護専門学校第1看護学科教務科長 糟谷 操子

- ・看護基礎教育3年課程教育内容の変遷
- ・コロナ禍における看護基礎教育の現状（臨地実習と学内実習の工夫や限界）
- ・コロナ禍に臨地実習が十分に受けられなかった卒業生の現状からの課題

など



「国政報告」

衆議院議員 たかがい 恵美子

※国会会期中にて、12/4大阪での報告会録画の上映でした。また、新年のご挨拶いただきました

清々しく希望みなぎる新年を謹んでお慶び申し上げます。長崎県看護連盟の皆様には国民福祉の向上と看護政策の推進に変わらぬご支援を賜り心から感謝を申し上げます。また昨年は皆様の厚いご信任を得て、衆議院議員として新たな一歩を踏み出す荣誉に与りました。これからも現場第一の姿勢を貫いて地道に努力を積み重ね、さらなる成果をお見せできるよう精進する所存です。

寒さ厳しい折、いのちの最前線では通常業務に加え、引き続き感染症対策に注力しなければならない状況が続きます。ご負担をおかけし誠に恐縮ですが、皆様の日々のご努力が、まさしく国民生活の安寧に直結していることを広く周知し、看護職の技術評価の引き上げと処遇改善及び働き方改善のために全力を尽くす覚悟です。ご多忙の毎日とは存じますがどうかご自身の健康と幸せを大切にされ、皆様にとって良き一年となりますようにご祈念申し上げます。



【2日目 (12/10)】

○講演

「看護の未来をつくる」～看護連盟と政策～

講師：日本看護連盟会長 大島 敏子

- ・看護協会の歴史と看護連盟設立の背景「組織の代表を議員に！」
- ・協会と連盟それぞれの役割と団結！「看護はひとつ」
- ・コロナ政策の実現、政治活動と選挙活動の違い
- ・日本の立法過程

など



「看護と政治」～組織は一つ。看取りひと筋に走り続けて、いま93歳～

講師：長崎県看護協会・長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

- ・これまでの歴史（看護協会・看護連盟）と故石本しげる先生
- ・自身の看護実践活動（これまで、現在、これから）
- ・「九州は1つ、心は1つ」「やる気 本気 根気」「信念こそ我が勝利」

など



「看護と法律」～コロナ禍における課題を中心に～

講師：日本看護協会参与 友納 理緒

- ・看護職の役割、院内感染が発生した場合の法的責任は（感染対策の水準）
- ・看護職の業務（療養上の世話と診療の補助）
- ・絶対的医行為とナースプラクティショナー制度
- ・コロナハラスメントについて

など



グループワーク



テーマ：「看護連盟会員増に向けた看護協会と看護連盟の連携・協働について」

- ・若者に対し、いかに看護協会・連盟組織の役割・活動について興味を引くことができるか。青年部活動の推進
- ・学生時代からの認識強化
- ・会費のメリットがわかるような対策を検討していく
- ・協会と連盟は「表裏一体」 施設訪問の際は、看護協会長と連盟会長が同行訪問する
- ・協会・連盟それぞれの役割・機能と、問題点・課題を明確にする

などの意見があり、充実したグループワークとなりました。



○閉会挨拶 九州ブロック協議会副会長 矢野 メリ子

地区支部紹介

県南地区

長崎県看護連盟県南地区は、長崎市を中心として、時津町・長与町のエリアにある病院・施設・訪問看護・福祉事業所等の37施設、第1～9支部の全9支部で構成されています。

看護連盟会員数は約3700名と長崎県看護連盟全会員の約60%を占めています。各支部には支部長1名・幹事長1名・幹事1～2名の計35名で、看護の代表を国政に一人でも多く送り出すために“信念こそ我が勝利”「ぶれない・動じない・看護はひとつ」の精神で日々活動しています。



日本看護協会、長崎県看護協会の目的達成、看護協会の看護政策実現のために、これからも支部役員一同、心を一つにして、頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

入会

現在、連盟
入会して職場
反映させ
(県)会員数

離島地区

下五島地区6名上五島地区31名 計37名の会員です。9施設のうち7施設は1～2名の会員や個人会員で、少人数ですが地域に不可欠な施設で勤務中です。長崎県上五島病院看護部長を中心(窓口)に会員同士の連携が強く顔が見える関係で活動しています。また個人会員も地域に密着していて今までの信頼関係により選挙時確実な協力が得られ、会員一人当たりの獲得数は多く感謝しています。今後、施設内に現場感がある支部長や幹事長が配置される事を期待しています。



支部長 川端 逸子 さん
(元有川病院看護婦長)

地域医療へ貢献者として県民表彰を受けました。後輩たちの地位向上や職場環境改善を国に求める団体活動に力を注いでいる！と新聞に紹介されました。

おめでとうございます
ございます



県北地区

県北地区は佐世保市を中心とした地域で、3つの支部で活動しています。

会員は第1支部582名、第2支部121名、第3支部329名、個人17名の計1049名で、3支部合同で協力しながら連盟活動への理解を深められるよう協議し研修の企画運営などに取り組んでいます。

コロナ禍でなかなか思うように活動ができない状況ですが、会員の増加や各施設のリーダー育成強化などを目標に、会員が研修を受けやすいように短時間で視聴できる動画を作成し研修を行うなど創意工夫をしながら活動しています。

今後も県北地区の会員の皆様が看護連盟活動に理解を深め積極的に参加していただけるよう活動を行っていきたいと考えています。



案内

会員募集中
の声を国政に
しましょう!!

5,849名
(2021.11.30現在)



県央地区

県央地区は、諫早市、大村市、雲仙市、島原市、南島原市、東彼杵町、川棚町で構成され、第1支部から第6支部までの6支部で活動をしています。

長年、6支部間の信頼関係が厚く、仲良く、和気あいあいと活動しています。

活動内容は、県央地区報告会と合同研修会の開催、役員会の開催、各支部での研修会の実施など看護職の代表を国政におくるために常日頃から政治活動をし、いざ、選挙の時は、いつも高投票率をたたき出しています。また、

「看護の日ザいさはや!」ではバザーに協力し、収益金は長崎県看護連盟を通じて、すべて日本赤十字社に寄付しています。

新型コロナの影響で、ここ2年間は開催出来ていませんが、バザー品の提供には会員の協力に感謝しています。



新年あけましておめでとうございます！！



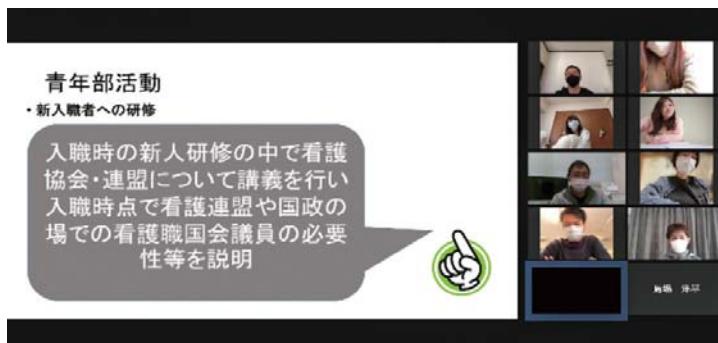
現在、長崎県看護連盟青年部は31名で活動しています。

2022年も頑張っていきますのでよろしくお願いします！！



令和3年10月23日、ZOOMを使用して**青年部育成研修会**を行いました！！各地区の青年部合わせて21人の参加をしていただきました。コロナ禍で集合研修など行うことができず初めて参加される方もいらっしゃいましたが青年部の活動を伝えることができたと思います。

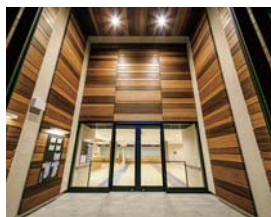
令和3年11月20日、ZOOMを使用して**フォローアップ研修会**を行いました！！参加者129名と多くの参加を頂きありがとうございます。立川明子幹事、青年部副部長 小川正臣、本多葵の3人が基調講演をしました。それぞれの経験を踏まえて看護連盟の必要性を説明し、選挙の仕組みや看護職を国政の場へ送り出す必要性、また、看護連盟に加入する事で自分達にもたらされる恩恵など分かりやすく説明し理解を深めることができました。コロナ禍ということもあり時代に合わせて新しい形での研修を進めていきます！！今後もよろしくお願いします！！



コロナ禍の中でも、感染対策をしっかり行い、それぞれができることを行なっています。大変な今だからこそ一致団結して乗り越えていきましょう！！「楽しく」「新鮮」「為になる」部活です。若い世代の参加を青年部は待っています。



第2回 施設・連盟活動紹介



県南地区第2支部 支部長
社会福祉法人十善会
十善会病院 馬 渡 いつ子

自施設は約150年間、長崎市十善寺地区で医療・看護を提供してきましたが、建物の老朽化などで令和3年6月に旧長崎市成人病センター跡地へ移転しました。一般94床、地域包括ケア94床で二次救急輪番病院であると共に訪問看護ステーションも併設しています。

看護連盟会員は、病院130名+訪看3名（看護協会比率96.3%）です。青年部吉田部長をはじめ各部署のリーダーが自主的に投票行動を促してくれるなど、連盟活動への意識が高い組織風土です。市内中心部で交通アクセスも良く、研修や選挙活動には積極的に参加してもらい理解と協力につなげるスタンスで現在に至っています。

コロナ禍において院内の定期的なリーダー会が開催できていない状況において、会員の政治や選挙活動への意識が現在どのような状況なのか不安でした。そこで11月20日のフォローアップ研修に参加した看護師11名に、10月31日に行われた衆議院選挙の投票行動についてアンケートを取りました。

投票行動 (n=11)		投票日		以前の投票経験	行った理由、行かなかった理由
行った	8人	期日前	8人	8人全員が1回以上有り	・先輩などの同僚から進められたので行ったという人が多かった
		当日	0人		
行かなかった	3人			3人とも投票経験なし	・誰に投票してよいかわからなかった 2名 ・投票はがきを失くした… 1名

結果



選挙・投票行動は、社会人として
看護師として「当然」「普通」
のことなんだ

一般の若い人の投票率が30%台であることに比較すると、70%以上の投票率であり、皆、期日前投票に行っていたことに日々の活動が浸透していると実感できとても嬉しくなりました。また人生で一度目の投票に勇気を出して行けば、2度目からは抵抗なく選挙に行けるのではないかと改めて感じました。今度の参議院選挙に向けて、さらなる会員の一致団結をはかっていきたいと思います。

継続は力なり 連盟活動！！

金澤顧問は元看護部長
週1回、ボランティア活動中

自施設での連盟活動について紹介したい施設がありましたら、ぜひ、お知らせください。



年女・年男の方へのアンケート

看護職として年代を通じて感じることを教えて頂き、
後輩や先輩それぞれの励みにしていきましょう！

- 1) 座右の銘 2) ストレス発散方法または県内おすすめスポット 3) マイブーム
4) 〈24歳・36歳〉入職してから今までで連盟活動とし 〈48歳・60歳〉看護師になった頃と比べ職
て知っていることや体験したこと又は今後望むこと。 場環境が良くなったと実感していること。



大久保美結(24歳)
Jcho 諫早総合病院

名誉会長との
年齢差
なんと70才

- 1) 一陽来復
- 2) 甘いものを食べること
(チョコレート、サツマイモ)
- 3) 健康アプリを使用して
散歩 ピクミン増加 !!
- 4) 現在の働きやすい環境
作りは様々な政治活動
があり、選挙に対する
意識が高くなった。今
後は積極的に参加した
い。



小川 正臣(48歳)
長崎掖済会病院

青年部副部長
として活躍中

- 1) 一期一会
- 2) 自宅の縁側で夏は早朝、
冬は昼下がり日向
ぼっこ
※認知症予防の為新た
な発散方法を模索中
- 3) 炭酸水(健康の為ビー
ルとチェンジしたらい
つの間にか美しさに陶
酔)
- 4) 機器のディスプレイ
化と情報のIT化



N子(36歳)
虹が丘病院

幼児と小学生の
育児も頑張っ
ています

- 1) Do my best
- 2) 長崎恐竜博物館
子どもと遊べます。
- 3) イカゲーム等
(Netflixフリックス鑑賞)
- 4) 看護・介護職の賃上げ
と人員の確保



T.T(60歳)
昭和会病院

60代突入して
ますます
パワーアップ

- 1) 一期一会
- 2) 旅行
国内旅行(温泉めぐり)
海外旅行(10年程行け
ず)
- 3) 断捨離 コロナ禍で自
宅時間増加、身辺整理
してスッキリ !!
- 4) 看護体制の変革に伴い
時間外勤務がほとんど
なくなった。

令和3年11月10日就任15年目の田上長崎市長の市政報告会に参加しました。百年に一度の進化の時を迎えている長崎の町づくりの経緯や進捗状況を聞きました。その中で物事を判断する時に大事なことは、「短期ではなく長期的に観る」「枝葉末節ではなく本質を観る」「一面的ではなく多面的に観る」ことが大切と説かれた安岡正篤氏の言葉が引用されていました。まさに60周年を迎える看護連盟活動に相通じるものがあり医療、看護界の次の時代の基盤を作るため尽力された名誉会長はじめ諸先輩方に感謝の念が強くもてた時間でした。

